

■ZEN メソッド (3次元処方) 白血病 (血液の癌) とダウン症

由井寅子

要約：日本でホメオパシーを確立した由井寅子が、難治の疾患治癒に対する彼女のZENメソッドについて論じる。白血病とダウン症のケースを用いて彼女のメソッドを解説する。

由井寅子ホメオパシー博士は、事実上、独力で日本のホメオパシーを確立し成長させた功績が評価されている。英国のホメオパシー医学協会 (HMA) の認定試験に合格した後、その協会において日本人初のホメオパスとなった。その後、ロンドンでホメオパシークリニックを開業。1997年、由井博士は、日本で初のホメオパシーカレッジ、ロイヤル・アカデミー・オブ・ホメオパシー (RAH) を創立。その翌年、日本ホメオパシー医学協会 (JPHMA) を設立。その後、13冊の書籍、多くの論説を書き、国際的に講演をし、多くの榮譽を受けた。日本ホメオパシーセンターの総センター長も務める。

序論

私は、イギリスに住んでいた頃、潰瘍性大腸炎を患い、万策尽きた時、ホメオパシーに出遭い完治した経験をきっかけに、ホメオパシーを学び、日本人初のホメオパスとなりました。約20年前、未だホメオパシーが殆どの人々に知られていなかった日本にホメオパシーを普及し、1997年には日本初のホメオパス養成コースを開校し、学長を務めています。

現在では、全国に300以上の日本ホメオパシーセンターがあり、600名以上のホメオパスが日本各地で活躍しています。私は、この日本ホメオパシーセンターの総センター長を務め、後輩ホメオパス達の育成にも力を注いでいます。私の勤務する東京センターには、月々約300名のクライアントが訪問します。

1998年、日本ホメオパシー医学協会を設立し、ホメオパシー職業保険を適用させる事に成功し、ホメオパスの職業的地位を築きました。

現在、日本では、推定15万人がホメオパシーを使用する程、ホメオパシーは発展しています。

私は、日本へホメオパシーを持ち帰り、医原病大国の日本における様々な難病ケースを通じZENメソッド (三次元処方) を10年かけて確立しました。

このメソッドは、アトピー性皮膚炎、発達障害、癌、など、現代社会において不治の病と呼ばれる複雑な病理に対しても高い治癒率を持っており、ZENメソッドで治癒したケースをご紹介します事で、世界各国におけるホメオパシー療法の発展に貢献できる事を願います。

今回は、このZENメソッドを使った「白血病 (血液の癌) とダウン症のケース」をご紹介します。

癌は真菌

真菌の繁殖は、「免疫が落ちている」状態です。真菌感染は、表皮ではなく、真皮の問題です。血液がにごり免疫が落ちている状態だと、真菌が繁殖し、真菌そのものが毒素を出します。しかし、水虫、カンジダ、真菌が出ているのは良い事なのです。出ているうちは癌になりません。癌は体内の酸性度が強すぎる状態のことです。真菌が育ちやすい体の環境が癌になりやすい土壌と言えます。癌細胞には酸素がなく、真菌に強い性質をもっています。体が酸性に大きく傾いたときに、体は組

織を癌にしてでも真菌のはびこりから体を守ろうとします。イタリア医師トゥリオ氏も「癌はカンジダによって生じる真菌」であると言っています。普段は免疫系によって抑制されているカンジダが、免疫系が下がった時に、強力な菌に変異し増殖すると言っているのです。予防接種や解熱剤の使用により老廃物の排出が抑圧された人は、汗をかけません。低体温の人が多くなります。現代の日本人には、35度台という低体温の人が増えています。その結果としてカンジダがはびこりやすくなります。健康な人の体温は、36.5度以上です。カンジダは高温で死ぬため、熱がだせないとカンジダがはびこりやすくなります。そのため熱を出すことが大事なのです。

日本人に合うメソッド

タミフルとは経口型抗インフルエンザウイルス剤の商品名です。日本はタミフルの処方数が世界第一位で、2005年の統計では世界のタミフルの使用量の80%が日本で使われました。これはアメリカの4倍の量で、異常なことです。

日本では160年前から、予防接種をしてきました。そして1848から1994の50年間、予防接種は義務でした。1993年にMMRを接種された子供たちが次々と死亡したり、麻痺が残り、国は責任を追及され訴訟問題が起きました。このため事故が起きても責任を問われないように1994年に予防接種を義務から外し、「義務」から「勸奨（努力）」へと変更されました。

（参照「予防接種トンドモ論」由井寅子著 ホメオパシー出版）

体内に残留した水銀量を測定し、国別に比較した資料があります。それによると、日本人の水銀量は世界一です。しかも、二位の国の8倍という断トツの一位です。そのため日本人の身体は腐りにくいと言われていています。スマトラ沖地震では、日本人旅行者にも犠牲者がでました。現地の人の遺体はすぐに腐るのに、日本人の遺体だけは腐敗が進まず不思議がられたそうです。日本人には、体内への水銀の含有量が多く、また多くの防腐剤入り添加物の入った食事を当たり前のようにとることで、細菌が繁殖できないために腐りにくい体になっているのではないかと思うのです。

私が英国で見ていた患者と日本の患者では、レメディーの効きが違うということを見ました。日本人は、多くの医原病を抱える民族で、難病、癌、自閉症が多く発生しています。このような日本人に対して、従来のホメオパシー・メソッドでは、従来欧州で行われてきたプラクティカルと言われる手法でも全く歯が立ちませんでした。それが10年かけて日本人に合うZENメソッド（三次元処方）を確立してからは、多くの患者を治すことができるようになりました。このメソッドは、日本で生まれたので「ZEN（禅）」としました。また三位一体で患者をみるので「三次元」としました。医原病が多く、難病を多く持つ日本人を治癒させるために研究を重ねてつくりあげたメソッドは高い治癒率をあげています。

ZENメソッド

ZENメソッド（三次元処方）についてももう少し説明します。薬や予防接種の影響を排出するために、マザーチンクチャーの中にトートパシー（原因となった薬剤のレメディーを使う方法）で薬や予防接種のレメディーを入れます。マザーチンクチャーで臓器のサポートをしながら、体内の異物を排出させることができます。そして、「朝」にミネラルのレメディー、「昼」にマヤズムレメディー、「晩」に植物、動物のレメディーをLMポーテンシーでだし、それぞれコップに2cmの水に2滴入れて、20回かき混ぜてとります。

朝、昼、夜のレメディーには次のような役割があります。

朝	ミネラルのレメディー	根本体質のレメディー	身体
昼	マヤズムのレメディー	罹り易さのレメディー—遺伝、サスセプタビリティー	魂

晩	植物、動物のレメディー	今出している症状にあったレメディー—症状、現在の状態	感情
---	-------------	----------------------------	----

そしてレメディーは毎日リピートしてとっていきます。
 こうすることで、患者はより早く治り、より治癒率が上がりました。

由井の癌へのアプローチ（三次元処方—ZEN メソッド）

以前は多くの癌患者に対して、最初に Carc. からだしていたのですが、これではうまくいきませんでした。そこで癌の場合でも、抗疥癬治療からやることで、治癒に導くことができました。結核や癌はマヤズムというよりも、「傾向」です。また結核や癌は3つのマヤズムが合体した姿であり、二次的 Psor の病気であるため、抗疥癬レメディーを出さない限り癌は治らないのです。そして結核や癌がはびこる土壌をきれいにするために老廃物を出すことが大切です。そのためには医原病出し、臓器サポート、抗疥癬治療が必要です。

「慢性病論」より引用
 病気の現れ方はあまりにも多様である。その変化の仕方も極めて多い。
 従って、従来病理学によって提示された病気の症状では、もはや網羅することはできないであろう。

(1) その病名を挙げてみよう。療癩(るいれき)、佝僂病(くるびょう)、風棘(ふうきょく) [骨結核の一種]、萎縮、消耗、結核、肺病、喘息、粘液性結核、・・・肉腫、骨腫、硬性癌、唇癌、頬癌、乳癌、子宮癌、・・・など。

それらは、表に現れるようになったマヤズム性の根源的な病気の、すなわちソーラの特徴的な二次的的症状であり、そのソーラこそは、これまでずっと知られてこなかったけれども、実は、不幸を生み出す、千の頭を持つ怪物なのである。

「オルガノン」 § 80

このソーラは、他のたくさんの病気、それどころか数え切れないほどのあらゆる病気の形態を生み出す真の**根本原因**であり、生みの親である。こうした病気の形態は、病理学書に独自の別々の病気としていろんな病名で図示されている。以下、病名をあげよう。

まずは、神経衰弱、ヒステリー、心気症、躁病、うつ病、精神薄弱、半狂乱、てんかんとあらゆる種類の痙攣。そして、骨軟化症(くる病)、るいれき、脊柱側弯と脊柱後湾、骨膿瘍、癌、血管性腫瘍、新生物、痛風、痔、黄疸およびチアノーゼ、水腫、無月経、胃・鼻・肺・膀胱・子宮からの出血。更に・・・。

このようにハーネマンは明確に癌は疥癬マヤズムの疾患であると言っています。

【結論】

疥癬治療の重要性

(病気の) 癌はレメディーの Carc. では完全には治すことはできません。癌を制覇するためには抗疥癬治療が必要です。なぜなら、癌も元々は疥癬から発生しているからです。癌マヤズム、結核マヤズムと言われますが、癌や結核はマヤズムではなく傾向であり、疥癬、淋病、梅毒のコンビネーションです。病気のいかなる段階でも抗疥癬治療が必要になります。病気の表れている部分によって、次のように使い分けます。

- ・肉体/臓器レベル
- ・・・・ティッシュソルト、マザーチンキ
- ・バイタルフォース/感情/精神
- ・・・・希釈振盪したレメディー

どうして私がこのZENメソッドに行きついたかという、私は、後世の人によって「創作されたハーネマン像」ではなく、「創意工夫するハーネマンの姿」をよりいっそうはっきりと見る事ができたからです。創意工夫するすべての人がそうであるように、彼は自分で設けた規則を何度となく破っていきました。そして私たちに分かったことは、ホメオパシーを生み出し、広めたその人物は、“いかにしてホメオパスとなるか”を学んでいる途上にあつた、ということです。彼はきわめて実験的精神に富んでいて、自分の学説にとらわれませんでした。一回一回の処方冒険でした。彼は、これから何が起こるのか知りませんでした。起きたことにすっかり驚いてしまうことも多くありました。まさに生涯を終えるその時まで、彼は観察と実験を継承していったのです。

晩年のハーネマンの処方

1838年 Sulph. C ポーテンシーの上昇法

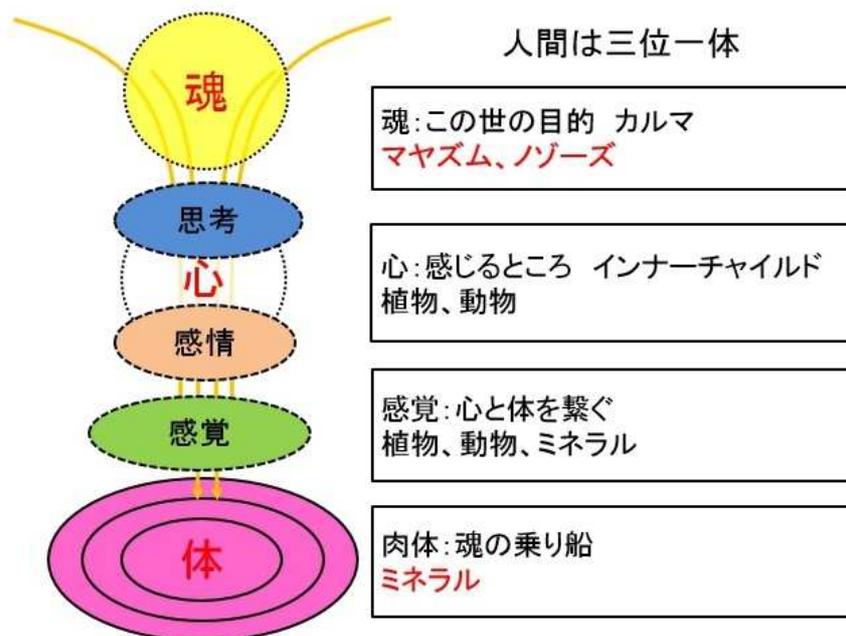
1840年 LM ポーテンシーの実践開始 順次段階的な上昇法に定着

最終的にはLMのSulph.のみ使用 = 抑圧の蓋を取る事に力を入れた 抗疥癬治療

急性症状（好転反応）には対処しない 乳糖を与えて様子を見る

しかし、私達はハーネマンを越えなければなりません。ハーネマンの時代には、放射能、抗生物質、コーチゾン等はありませんでした。ですから、私達はハーネマンを越えねばならないのです。

私自身も今日まで創意工夫と努力を重ねてきました。ZENメソッドでは、急性症状への対処と抗疥癬治療を同時に行います。さらに、自分自身の気づきにより、心の在り方、考え方、生き方を治さない限り、未解決の感情（インナーチャイルド）がPsoraを刺激して、いったんは治ったようにみえても病気は戻ってきてしまいます。ホメオパスはクライアントの心に光を灯す重要な役割も担っています。このため私はクライアントへ内なる自身、インナーチャイルドを観るように話します。自分が取り乱した時、怒った時、どうして取り乱したのか、どうして怒っているのか自分自身に尋ねます。答えは自分自身の内からきます。これがインナーチャイルドの癒しです。人間の实体は、魂、精神、身体の三位一体です。魂と精神の間には思考があります。思考と感情の間に精神があります。感情と身体の間には感覚があります。



感情は常に動いており、安定していません。感情は、喜び、怒り等を作り出します。しかし、道徳から「私は今怒ることができない。」と考え、その怒りを抑圧します。もし、その怒りを抑圧すると、身体の何処かに熱の感覚を持ちます。その熱は、身体に落ち、身体は、関節炎などの痛みを感じます。私達は感情について多く考えなければなりません。なぜ私達は、このような感情に揺れてしまうのでしょうか。その回答は、内なる自分から来ます。心の中には思考と感情があります。それぞれの部分には次のような意味があります。

部分	意味	適応するレメディー
魂	この世の目的ーカルマ	マヤズム、ノゾーズ
心（思考と感情）	感じるところーインナーチャイルド	植物、動物
感覚	心と身体をつなぐ	
身体	魂の乗舟	ミネラル

健康な体はバイタルフォースが中心にあります。バイタルフォースには二重性があり、健康なバイタルフォースとホメオスタシスが適切に動いていれば、私達は決して病気にならないでしょう。しかし、バイタルフォースがいったん弱まると、バイタルフォース自身が病気を作り出します。これは、バイタルフォースの二重性と呼ばれます。二重性の一つは疾患を作り出し、もう一つは健康を維持します。

ケース

男児 12 歳

- 【主訴】 ダウン症。白血病で抗癌剤投与 →ダウン症・急性白血病予後
- 【現病歴】 ダウン症候群；生後すぐ告知。
- 【予防接種歴】 ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ・ハシカ・風疹・BCG
- 【既往歴】 BCG接種後から鼻風邪をよく引くようになり、滲出性中耳炎になった。
インフルエンザ／水疱瘡／CVカテーテル導入（2回）

<タイムライン>

妊娠中 希望しての妊娠。つわり軽い。胎動が弱い。
 出産状況 3,077g 6時間の安産。産声弱々しく、すぐ泣き止む。ダウン症告知。
 0才 哺乳力弱く6ヶ月まで混合栄養、その後ミルク(1才6ヶ月まで) BCG予防接種
 0才10ヶ月 滲出性中耳炎(～3才4ヶ月)。
 1才6ヶ月 喋り出し→その後全く言葉を言わなくなる。
 3才1ヶ月 インフルエンザ罹患
 3才2ヶ月 水疱瘡罹患。→薬で止めた
 3才4ヶ月 滲出性中耳炎治癒
 3才6ヶ月&7ヶ月時、40度超の発熱、1日で下がる。
 3才8ヶ月 40度の発熱2日間、その後微熱が1週間。
 3才9ヶ月 急性白血病発症、入院。6ヶ月間 抗癌剤治療 キロサイド=5回クール
 4才3ヶ月 化学療法終了、退院。
 9才9ヶ月 急性白血病が再発
 10歳 再発 血小板数1万3千

2011年4月21日

彼は二つの難病を持っています。一つはダウン症で、もう一つは白血病です。
 次のルブリックを選びました。
 私は、THE BÖNNINGHAUSEN REPERTORY (TBR)を使っています。

< TBR ルブリック >

- 192. 外見 - 口、開きっぱなしの(大口を開けた)
- 183. 外見 - 発疹(皮疹):口の辺りに:
- 369. 嫌悪および欲求 - サワークラウト(酸っぱいキャベツ、キャベツのピクルス)を、欲する
- 1708. 基調 - 温度、季節、天候 - 冷えていた後に(かぜをひいた結果)
- 1738. 基調 - 温度、季節、天候 - 熱される(内部が過熱する)事から:熱放射源(火、ヒーター、ストーブ、など)
- 660. 系統 - 心臓血管 - 血液および血液循環 - 循環の低下(不十分)(蒼白を伴うなど)
- 905. 全般 - 身体の側面 - 右側
- 791. 全般 - 精神 - 無関心

< TBR 結果 >

順位	レメディー名	出現回数	1	2	3	4	5	6	7	8
1	Ars.	8	2	4	3	1	4	4	1	2
2	Ign.	7		2	2	2	4	3	3	3
3	Bell.	7	4	2		4	1	3	2	2
4	Sulf.	7		3	3	3	2	3	1	2
5	Con.	7		2	1	3	1	3	1	3
6	Sep.	6		4	2	3		3	1	4
7	Puls.	6	2		2	4		4	1	4
8	Scill.	6	3	1	3			4	2	2

<処方結果>

随時 φShinz +Merc-sol.30C +Alum.30C +Antican-C-D30C +Antibiot-C-D30C +Pyrog.30C
朝 Hep. LM1
昼 Carc. LM2
夜 Ars. LM3

Aresnicum は、白血病に良いレメディーです。No.1 レメディーです。

3 次元的に処方しました。

彼は血中に多くの膿がありましたので、Hep-sulph はとても重要です。

朝に Hep-sulph LM1、昼に Carcinosis LM2、晩に Arsenicum LM3.

赤血球の中に多くの膿がありましたので、サポート Shin を彼に与えました。

血中に白血球と老廃物の為に循環が困難です。ですので、心臓はサポートされる必要があります。

最も重要な臓器は一番最初にサポートされなければなりません。私は、抗癌剤レメディー30C、Merc-sol 30C、Alum 30C をサポートティンクチャーに加えました。多くの若者の白血病は、ワクチンが原因です。特に、アルミと水銀の害。ですので、これは身体に対してです。トートパシーのレメディーによる臓器サポートと排泄。

マザーティンクチャーは、Cactus と Crataegus です。

カクタス *Cactus Grandiflorus* ヨルザキサボテン

強心剤として与えると、衰弱し痛む心臓に有益である。痛みが耐え難い充血性の損傷にも有効。

体内作用は心臓と循環器系にある。

悲しみ、不安、死の恐れ、簡単に恐怖に駆られるといった精神状態。

クレティエーガス *Crataegus* サンザシ

心筋に作用する優れた心臓の強壯剤。

心機能障害、心臓の弁の疾患、または貧血が原因で脈が弱く速い、呼吸困難、むくみによい。

私は、このティンクチャーに Calc-phos と Zinc-mur を入れました。Calc-phos は、必須ミネラルですので、癌の方々に非常に重要です。これら全てのレメディーは、慢性病論と純粹マテリア・メデイカの情報から来ています。

2011年07月14日 患者からの報告

【変化した事】

- ・咳→とり始めの翌日くらいから始まる痰のからんだような咳。
- ・背中に赤みが強いブツブツ、口の周りの発疹が落ち着いた
- ・耳から膿が出た（耳が聞こえづらい）
- ・汗が出るようになった
- ・自分を否定されると涙を流した

彼は自分の意思を持ち始めました。これは良い事です。また、感情も示す様になり、大変良いです。口の周りの発疹も、下部に降り、これもまた良い事です。

< TBR ルブリック >

1472. 全般 - 発疹 - 亜粒性の（紅色汗疹、あせも [汗疹]
 250. 部位 - 背中 - 背中全般
 100. 部位 - 耳 - 化膿性の（膿）
 104. 部位 - 聴覚 - 困難（難聴、聞くことが難しい）
 164. 部位 - 外見 - 血の気のない

< TBR 結果 >

順位	レメディ-	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5
1	Sulf.	5	17	3	4	2	4	4
2	Sil.	5	17	2	4	4	4	3
3	Puls.	5	17	3	4	3	4	3
4	Calc.	5	15	2	4	3	4	2
5	Bell.	5	14	3	4	1	4	2
6	Caust.	5	14	3	4	2	3	2
7	Rhus.	5	14	3	3	2	3	3
8	Merc.	5	13	4	3	3	2	1
9	Sep.	5	13	1	4	1	3	4
10	Nat-m.	5	11	1	4	1	2	3

< 処方結果 >

随時 ΦSupport Spleen + Tamiflu remedy + Sul-ac. 30C + Calc-phos. 12X
 朝 Sil. LM1
 Sulph. LM2
 昼 Carc. LM3
 夜 Puls. LM4 (night)

私は、彼にサポート Hiz を与えました。白血病の方々に良いです。脾臓は、免疫系に非常に重要で、私は、彼に脾臓のサポートを与えました。彼は多くのタミフルを摂っていましたので、タミフル薬剤レメディ-をトートパシー的に加えました。

サポート脾臓に対するマザーティンクチャーは、Ruta と Echinacea です。Calc-phos 12X も加えました。

私はまた、Sul-ac 30C も加えました。Sul-ac は、体内の老廃物を非常に速くします。酸っぱい汗があり、汗が黄色いミになる場合、Sul-ac です。

ルータ *Ruta graveolens*

目、腱、骨のレメディ-。抗癌作用。

エキネシア *Echinacea purpurea*

もっとも重要な草本由来の免疫活性剤と立証されている。血液浄化。

毒性がなく、病気に対する抵抗力を高める。抗生作用と抗ウイルス作用もある。
発熱や感染症の治療に用いられ、またアレルギーを軽減する。

Calc-phos と Zinc は、癌の方々に非常に重要です。

白血病はミネラル不足が大きな要因だということが研究結果で明らかになった。

「カルシウム」、「亜鉛」などのミネラルを補給するとある種の白血病に非常に有効。

白血球などの血液は骨の中にある骨髄で作られている。

骨の中にある骨髄はカルシウムが十分ないと働きが悪くなり、

血液を正常につくれない。

2012年02月16日 患者からの報告

【変化した事】

インフルエンザにかかる。

急性白血病予後→改善…赤血球数値が正常範囲となる。

< TBR ルブリック >

577 呼吸器 - コリーザ - 流れる (鼻汁が出る)

590 呼吸器 - 気道分泌物 (鼻汁および痰) - 刺激性の (腐食性の、表皮剥離を生じる)

192 外見 - 口、開きっぱなしの (大口を開けた)

687 体温調節 - 冷たさ - 単一部分

1706 基調 - 寒冷から - 冷えた途端に (即座に) : (+ 好転 温まると)

660 血液および血液循環 - 循環の低下 (不十分) (蒼白を伴うなど)

791 全般 - 精神 - 無関心

< TBR 結果 >

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7
1	Ars.	7	23	4	4	2	3	4	4	2
2	Scill.	7	17	3	2	3	2	1	4	2
3	Lyc.	7	14	2	2	3	2	3	1	1
4	Sep.	6	19	3	2		4	3	3	4
5	Puls.	6	19	4	2	2	3		4	4
6	Phos.	6	18	3	3		3	3	2	4
7	Sulf.	6	16	3	2		4	2	3	2
8	Con.	6	16	3	2		3	2	3	3
9	Merc.	6	16	3	4		3	2	3	1
10	Nux-v.	6	16	3	3		3	4	2	1

< 処方結果 >

随時 φ Cho+Carb-an. LM4 +Antican-C-D30C +Puls. LM6 +Ars. LM6

朝 Sil. LM4

昼 Carc. LM5
夜 Squil. LM6

Arsenicum が再び出てきましたが、今回は、Scilla を選びました。
彼の身体はとても冷たいですので、Silica の根本です。
今回は、腸のサポートを彼に与えました。
赤血球、白血球、血小板、全ては骨髄よりむしろ腸から来ています。
腸は、白血病の人にとっても重要です。
私は、医原病に対して抗癌レメディーを加えました。
ティンクチャーは、Quercus、Crataegus、Alfalfa です。

クエカス *Quercus spp.*

クエカスの含むタンニンには収斂作用があり、粘膜からの分泌を抑える働きがあるので、内服することによって下痢抑制作用や整腸作用があらわれる。
打撲損傷による血液のうっ滞、循環障害、痔、皮膚の化膿性疾患にも良い。

クレティエーガス *Crataegus サンザシ*

心筋に作用する優れた心臓の強壮剤。心機能障害、心臓の弁の疾患、または貧血が原因で脈が弱く速い、呼吸困難、むくみによい。

アルファルファ *Medicago sativa*

ビタミン (A, B 群, K など)、ミネラル、タンパク質、食物繊維、葉酸、イソフラボン、クロロフィルが豊富。

⇒ 疲労回復、強壮、食欲増進、便秘、貧血、更年期障害、コレステロール低下の他、胃腸問題、腎臓問題、頻尿・多尿、消化促進・栄養吸収を高める。

Scilla maritima (Scill.) 海葱 (かいそう)

Materia Medica Pura (Reine Arzneimittellehre (RA))より引用

硬い癌

RA157 硬結を引き起こす

RA158 熱と炎症を伴う硬結が、Scilla によって癌になるおそれがある

冷え

RA182 全身に悪寒、皮膚もやや冷たい

RA184 暖かい室内で両手が氷のように冷たい

RA185 両手と両足が氷のように冷たく、体のその他の部分は温かい

RA186 両足が氷のように冷たい (2度)

放屁&悪臭

RA89 非常に**悪臭**のする多量の**放屁** (1時間後)

RA90 たえまなく続く**放屁**、大きな音で非常に**悪臭**がし多量、
このため下腹部が一瞬たりとも休まらない

RA94 下痢状で、多量の、茶色で非常に細く粘液混じりの、非常に**悪臭**のする便、
痛みやしぶりはなく、ほとぼしるような**放屁**を伴い、
ぎょう虫と形をなさない白く細かい多量の糸くずのようなものが混じって排出される

2012年7月12日 患者からの報告

【変化した事】

- ・血液の状態はよくなる。
- ・発熱 38~39℃ → 咳
- ・顔の発疹が再度出始める。
- ・左足水虫。
- ・滲出性中耳炎が続く。

< TBR ルブリック >

- 96 部位 - 耳 - 耳からの排出物 (流出物)
 583 呼吸器 - 咳 - 吐出物 - のない
 590 呼吸器 - 気道分泌物 (鼻汁および痰) - 刺激性の (腐食性の、表皮剥離を生じる)
 625 呼吸器 - 気道分泌物 (鼻汁および痰) - 水っぽい (薄い) - 鼻汁
 449 排尿 - 回数が少なすぎる
 456 排尿 - 減少した (不十分な、乏しい; 乏尿、無尿)
 474 尿 - におい - アンモニアの
 475 尿 - におい - 不快な (むかつくような、悪臭の)

< TBR 結果 >

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8
1	Carb-v.	8	20	3	3	2	3	2	2	2	3
2	Phos.	8	18	2	4	3	1	1	3	3	1
3	Puls.	7	20	4	3	2	2	3	3		3
4	Nit-ac.	7	17	3	2	2		1	3	3	3
5	Merc.	7	17	4	2	4	3	1	1		2
6	Sulf.	7	16	2	3	2	3	1	3		2
7	Sep.	7	12	2	3	2	2	1	1		1
8	Calc.	7	11	3	2	1		1	1	1	2
9	Iod.	7	9	1	1	2	1	1	2	1	
10	Ars.	6	15		3	4	2	1	2		3

< 処方結果 >

- 随時 φ Hai +Zinc-m. 12C +Carb-v. LM5
 朝 Phos. LM5
 夕 Psor. LM6
 夜 Carb-v. LM5

肺サポートは、Echinacea と Quebracho のマザーティンクチャーです。

Echinacea については既に上述しました。

ケブラコ *Quebracho Aspidosperma* シロケブラコ

結核や肋膜炎の消化不良を緩和する。喘息の緩和。チアノーゼを伴う呼吸困難も緩和。

私は、ノゾーズの Psora を与えました。Psora は刺激をし、VF と合体します。そして、VF にとって危険な急性のエネルギーや勢いを減らし、遅らせます。

2012年10月11日 患者からの報告

【変化した事】

1. 急性白血病→改善
2. 血液検査の結果、総蛋白値が上がる。
3. 身長が伸びた。
4. 以前はしゃべれなかったが、この頃一生懸命話そうとして、どもる。
5. 皮フ発疹（口の周り、ほお、足の裏、足の指）→改善
6. 滲出性中耳炎→改善…左耳が治る。

< TBR ルブリック >

1997 基調 - 物に寄りかかる（もたれかかる）

823 睡眠 - 目覚める - しばしば夜中に

1374 皮膚全般 - 落屑（鱗屑 [薄片となつてはがれ落ちる]、剥離）、皮膚の

1 頭 - 外頭部、全般

1340 皮膚全般 - 血の気のない（鉄血乏性貧血 [萎黄病]、など）

< TBR 結果 >

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5
1	Bell.	5	15	1	2	4	4	4
2	Staph.	5	14	2	3	3	4	2
3	Merc.	5	12	2	3	2	3	2
4	Ferr.	5	11	4	1	1	1	4
5	Kali-c.	5	10	2	3	1	1	3
6	Spig.	5	10	1	2	1	3	3
7	Sulf.	4	13		4	2	3	4
8	Puls.	4	13		4	3	2	4
9	Phos.	4	13		4	3	3	3
10	Calc.	4	13		4	1	4	4

< 処方結果 >

随時 φ Bon support +K-Art-col +Ferr. LM6 +Influ. 30C +Alum. LM6 +Sec. LM8

朝 Calc. LM6

夕 Psor. LM7

夜 Merc-sol. LM8

サポート Bon のマザーティンクチャーは、モラス（クワ）、ハイペリカム、そしてルータです。

モラス（クワ） *Morus bombycis*

カルシウムとマグネシウムが豊富。骨粗鬆症の予防に。
血糖降下作用、糖の吸収阻害（糖尿病）。去痰作用、鎮咳作用。

ハイペリカム *Hypericum perforatum*

傷の手当てや利尿、月経困難などに用いられてきた。
近年になって悲嘆や絶望、恐れなどの感情や抑うつに対する効果が確認された。
暗い心に明るさを取り戻す。

ルータ *Ruta graveolens*

目、腱、骨のレメディィー。抗癌作用。

私が彼を診始めた時、赤血球は 3.9 でした。最初の処方で、既に正常になりました。その後、正常レベルを保っています。

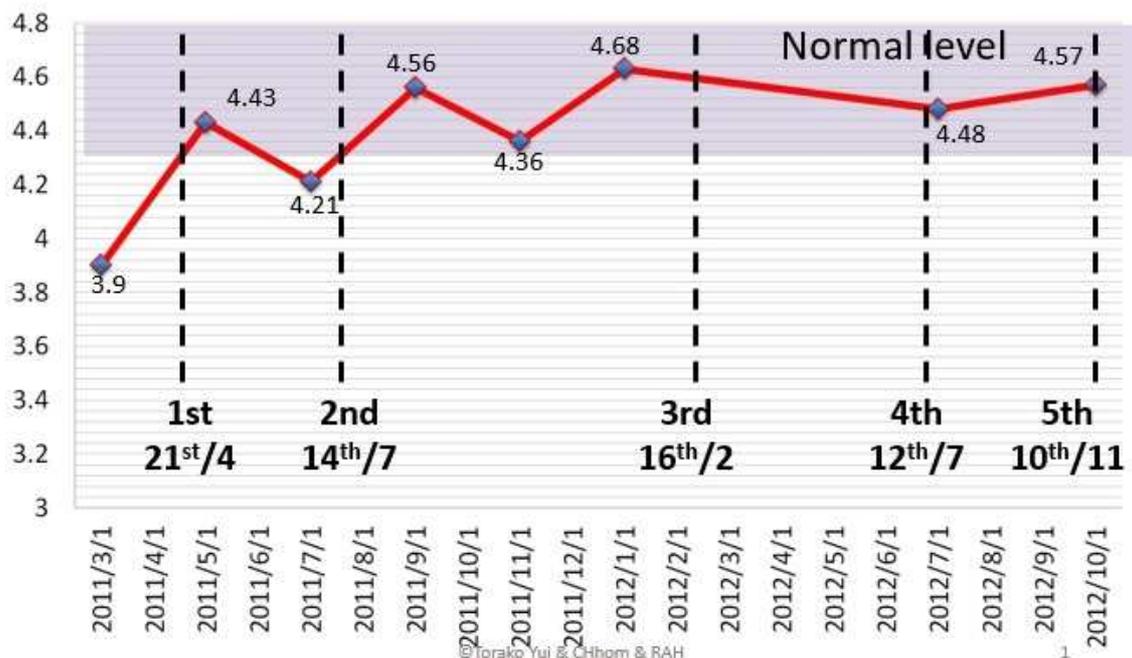
総蛋白のみが問題でした。しかし、Alfalfa を与えた所、増加し、正常になりました。

蛋白が不足している人に Alfalfa はとても重要です。

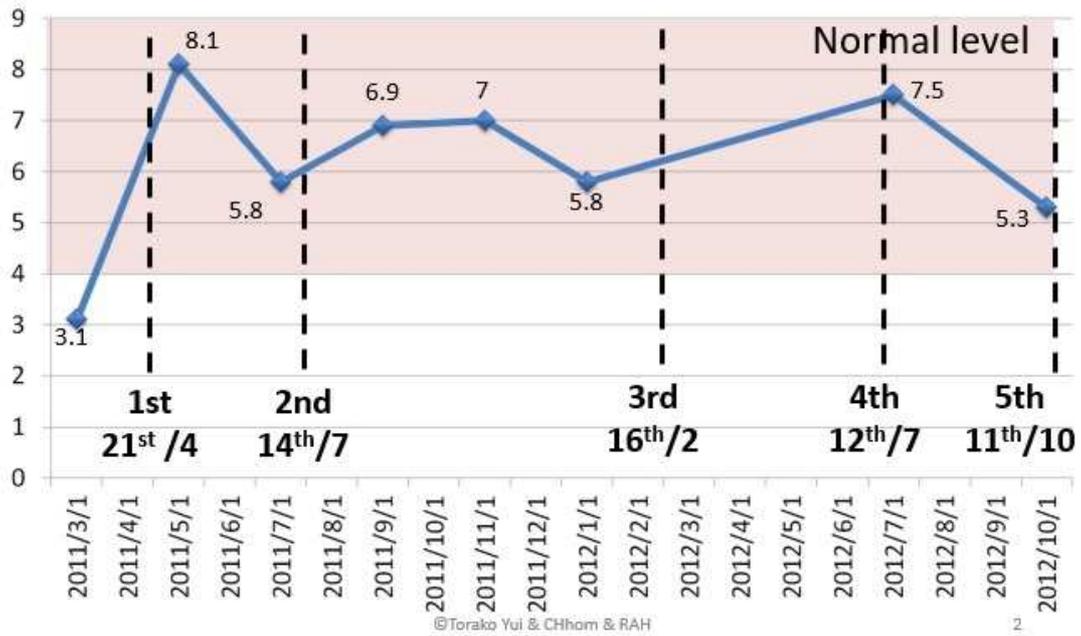
クレアチニンも正常になりました。

1年半の相談会で、彼は正常な身体になり、身長も伸びました。彼は白血病から回復しました。

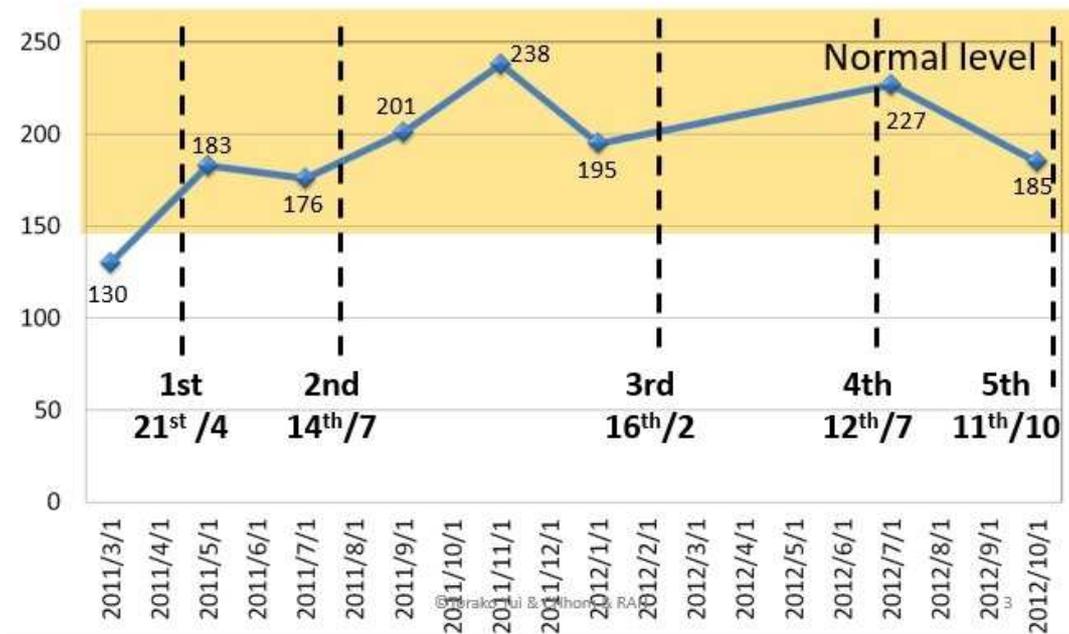
血液成分の変化 赤血球(参考値:450万~560万/ μ L)



血液成分の変化 白血球(参考値:4千~9千/ μ L)

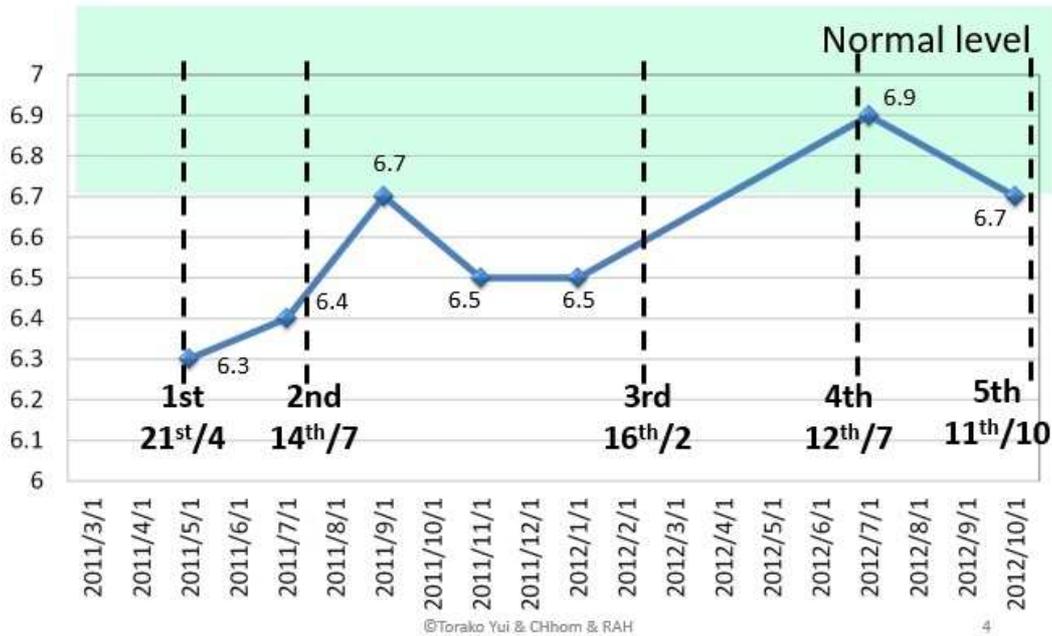


血液成分の変化 血小板(参考値15.7~38.2万/ μ L)



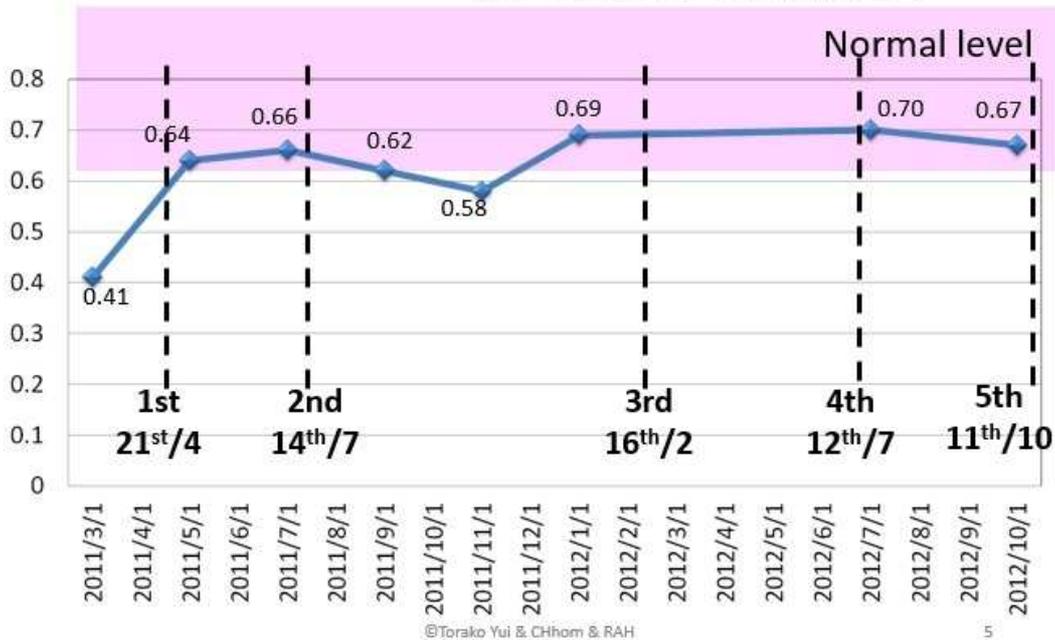
血液成分の変化

総蛋白 (参考値6.7g/dl - 8.3g/dl)



血液成分の変化

クレアチニン (参考値0.61~1.04mg/dL)



【分析とまとめ】

白血病の原因

1. 母父に既に老廃物がたまっていた
2. 中耳炎や鼻水、咳などの炎症が多い

3. 炎症や熱を薬で止めた
4. 3歳の時の水疱瘡にかかったのを薬で止めた
5. 予防接種や薬で血液毒が多い
6. ダウン症の子供は老廃物を出しにくい
7. レメディーで熱が出て老廃物を排泄した後に（熱を出し切る）血液が正常に戻った。症状はありがたい。
8. 抗疥癬レメディーは癌治療にとっても重要

ホメオパスはこの患者を病気にしたありとあらゆる可能性を調べ、同種のレメディーを与える。そうすることで難病も希望が持てる。そして母を勇気づけることも非常に大切である。

由井博士の癌サポートティンクチャー：

Can-Bon for bone cancer 骨癌
 Can-Bra for brain cancer 脳腫瘍
 Can-Bres for breast cancer 乳癌
 Can-Esoph for esophageal cancer 食道癌
 Can-Kan for liver cancer 肝臓癌
 Can-Leuk for leukemia 白血球
 Can-Lun for lung cancer, bronchial cancer 肺癌 気管支癌
 Can-Lymp for lymphoepithelial cancer リンパ癌
 Can-Rec for large bowel cancer, rectal cancer 大腸癌、直腸癌
 Can-Stom for stomach cancer 胃癌
 Can-Sui for pancreatic cancer 膵臓癌

マザーティンクチャーとレメディーをミックスするとパワフルになる。
 マザーティンクチャーもレメディーも一つの臓器に向かって作用するものを集める。

ベースとなるマザーティンクチャー

- φ Thuja - 抗腫瘍
- φ Calen - 細胞の再生
- φ Hyper. - 癌の人が最終的になるのが、破傷風とカンジダ、これによって患者は亡くなる。癌で死ぬのではない。
- φ Ruta - 異物を排出してくれる
- φ Echi. - 血液細胞を浄化してくれる

後はそれぞれの臓器に最適なマザーティンクチャー を加える

Fixed Remedy

ハーネマンとハーネマンの弟子たちが RA と CK (Die Chronischen Krankheiten) のマテリア・メディカで癌に良いと言及しているレメディーを Fixed remedy として用いる

癌の治療に最も大切なのは抗疥癬レメディー

Carc. を与えない理由⇒私のケースで、癌が大きくなって死んでしまうことが多かった為、私は癌の人々に Carcinosis はもう与えなくなった。

抗疥癬レメディアーとなるミネラル Calc., Sil., Mag., Kali., Phos.などの有用ミネラル
抗疥癬の動植物のレメディアー Con, Lach., Sep., Lyc., Bell., Nux-v., Kreos.など
抗疥癬マヤズムレメディアー Psor.
介入レメディアー Carb-v., Carb-an., Hep., Sulph.

ハーネマンが「介入レメディアー」と呼んだものは、抗疥癬マヤズムレメディアーである。
これらのほとんどすべてが抗疥癬レメディアーであるが、腫瘍が大きい場合はMed.、進行が早い場合はSyph.が必要となる。

Ruta

ルータはルチン以外にもアスコルビン酸やリモネンを含み、抗酸化作用がある。

◆アスコルビン酸 (ビタミンC) ascorbic-acid

ルータの葉に比較的多く含まれる。Ascorbic-acid is contained in the leaves of Ruta.
薬理学的アスコルビン酸濃度は細胞外液にH₂O₂ (過酸化水素)を発生させて、癌細胞に細胞死をもたらす。

◆リモネン limonene

かんきつ類に多く含まれる。

癌細胞の増殖を抑制、アポトーシス (細胞死) を誘導する。

※リモネンの抗腫瘍作用(Dr. Duke) Anti-tumor action of limonene

有効性が認められている部位： 胸、大腸、すい臓、前立腺、胃

◆ケルセチン quercetin

ビタミン様物質。ルチンはケルセチン配糖体。

抗炎症作用の他、強い抗酸化作用を持ち、細胞増殖に関わるいくつかの酵素を阻害する働きがある。

※ケルセチンの抗腫瘍作用(Dr. Duke) Anti-tumor action of Quercetin:

有効性が認められている部位： 膀胱、胸、大腸、肺、卵巣、皮膚

<自然農の薦め>

私達は、日本にある豊受自然農の自然農場でマザーティンクチャーを育てています。
私達は日本の北部と中部に農場を持っており、化学肥料を一切使わずにやっています。
私は、土壌への「発酵アクティブプラント®」を開発し、この液体は何十種類もの発酵した植物に放射能のレメディアーを含んでいます。Plutonium, Rad-brom, Cesium, Stron-carb等、8種類のレメディアー200Cが含まれています。この発酵アクティブプラントを使用した後、セシウムが非常に減り、現在、私達の土壌にセシウムはありません。ホメオパシーは人間だけでなく、植物、動物にも作用します。私達は、環境にホメオパシーを使っています。全ての生命体はホメオパシーを必要としています。

約3年弱前、日本では大きな地震がありました。

約2万人の方々が亡くなり、行方不明です。

とても不幸な出来事でした、未だ日本では復興作業が続いています。

日本は第二次世界大戦以来、苦境にいます。しかし、私達は、もう恐怖、不安、罪悪感を持つ必要はないのです。私は、皆が自分自身を愛し、お互いを愛し合う事を望んでいます。

私がホメオパスである目的は、ハーネマンと同じです。

『慢性病』第1巻 序文；

私は何のためにこの世にいるかといえば、
自分ができる限り、よりよくなるためであり、
私の力が及ぶ限り、周囲をよりよくするためである。

ホメオパシーの恩恵が全てに降り注がんことを！
万物生命、その存在自体に感謝し、命そのものを生きられんことを！